

夏らしい晴れ渡った天気の日 7 月 17 日、市役所の 7 階大会議室にて、「第 1 回市民ホール基本計画市民検討委員会」が開催されました。

今回は市民委員 41 名、(女性 16 名、男性 25 名)、市の事務局スタッフ 12 名、その他の事務局スタッフ 5 名、市民ホール基本計画策定専門委員会から松森委員、市来委員の 2 名、合計 60 名もの参加者がいました。会社員や主婦の方からご高齢の方まで、活動ジャンルもさまざまな皆さんが、市民検討委員として集まってくださいました。この日は第 1 回ということで、5つのグループに分かれ、自己紹介の後に「基本構想のふりかえり」をテーマに基本構想や小田原市の文化についてなどについてグループワークを行いました。どのグループからも疑問、質問など、日頃の実感にもとづく積極的な質問・意見が数多く出されました。

「ワークショップって何でしょう？」

会議の一種ですが、

- ① 初めての人でも意見を出しやすい工夫をしてあること
 - ② ちょっとした作業やゲームを通して楽しく語り合えること
 - ③ 相手を言い負かすのではなく、いっしょにつくっていく「合意形成」に重点がおかれていること
- などが、ふつうの会議とは違います。

つまり、みなさん一人ひとりの思いを今後の検討に活かしていくための取り組みです。積極的に、お気軽にご参加ください。

第 1 回 「オリエンテーション+基本構想のふりかえり」

5つのグループにわかれ、基本構想のいいと思うところ、足りないと思うところ、疑問点や今後の市民ホール基本計画などについて具体的に話をしました。ふせんに整理をした後、班ごとにワークシートをつくって意見を発表しました。
《ワークシートのふせんから一部をご紹介します》



児童館のように子供たちが自由に遊べる空間／オープンロビーで低料金で販売に利用できるスペース／ランニングコストがおさえられるもの／神奈川県で一番良いホールを創ってほしい／公演によって好きにデザインできるように
【ソフト系】《何をやる？》ホールで「何をやるのか」少し漠然としている／全国規模の公演に対応／展示スペース自主企画展覧会の開催（小田原ゆかりの作家）《子どもにぎわい》イベントがない時も気軽に子どもが集まれるよう／子供むけの企画を定期的に行う
《国際交流》2市8町の国際交流団体をまとめるきっかけ
【理念】「プロモーション」というコトは大切。市の文化事業の戦略が最重要／文化創造センター／駅からホールまでのアクセスを整備してほしい
【ハード整備】《駐車場》駐車場は？／市民会館では駐車場足りない。《食》／オープンカフェ欲しい。／地産カフェレストラン、小田原の食を伝えられる機能。／《外観》「建築物としての市民ホール」デザインは重要。／管理、修繕しやすさ。こつたつくりの設備は不要。管理者の手間を減らし、ソフト等に力を入れるべき。

1 班

☆☆☆Point☆☆☆

基本理念からまちの賑わいや小田原市ならではの文化についてなど、幅広い視点からの意見がでました。

2 班

【ソフト】平日でも寄ってみたい場所にする。／専門性のある学芸員、コーディネーターが必要／街のギャラリーとの連携が必要／市民が主体的となり参加活動していくのは良い／ホール・展示場・商店街とのタイアップ、活性化！
【基本理念】理想的だが現状の小田原市民にはハードルがやや高い／[7つの基本方針]②「たのしみ」はもう一歩高い「感動する」にしたい／育てる・つどい交流に賛同する／ネーミングを文化創造センターにすることに賛成／
【ハード】目的の変化に対応出来る施設を／情報発信としての機能ほしい(ハード・ソフト)／バックヤードを大事にしてホール規模は小さくてもよいと思う／託児室は平日親子のつどえる場になったらよい／展示の保管庫／小さい用地に大ホールは必要か／展示スペースも重要だが「高さ」を重視
【その他】観光客の立ち寄り所に！歴史・物産の紹介の場も／終演後のお客様の居場所空間を街にほしい／市内の文化活動を市広報でPRする／相模人形芝居の普及(市民に知ってもらう)／友の会システムは良い、出資できる／地下街を観光客のおみやげや情報発信の場に／展示場、常設会場にするアイデア



☆☆☆Point☆☆☆

基本理念・ソフト・ハード・その他とふせんを色わけし、それぞれについて具体的な案が多数でました。

3 班



【にぎわい】オープンカフェがほしい！／大ホール、にぎわい創出の為？
【事業】学校との協力／ホールを黒字にするのは大変／「事業」ボランティア？お金を取る？／運営は直営なのか指定管理なのか。小田原は直営だった
【市民参加】市民の創造演劇とか、音楽祭などが生まれると楽しい！／市民が参加して何が出来るのか／創造活動に施設を利用した市民ってどれくらいいるのだろう？／どんな創造活動に使いたいだろう？「プロ」って言葉って？
【文化って何？】小田原市は本当に歴史を大切にしているの／文化って何？／小田原の何かがある／「地産地消」じゃなくても良い！／多様性がある方が良い(小ホール)
【ハード面】防災対策はどうするの？／映像で公演記録「皆で何かつくりたい」／当時は良い設備が更新されない／閉じた貸出は必要？／映像関連のワークショップを／展示室と小ホールは共有できるのでは？／スクリーンの設置／リハーサルスタジオは欲しい！／小ホールを可動式にする理由・・・稽古場ほしい！！／ホールにcaféを作るより商店街へ流動を／練習場ないと居酒屋がもうからない／下北沢のイメージ／ホールを利用した前・後に使いたい(café)／昼間の利用に良い(カフェ)

☆☆☆Point☆☆☆

「文化って何？」「プロとは？」といった話や、市民参加、まちの賑わいについてなど掘り下げた議論が行われました。

4 班

【①金】これだけの物を作るのに予算は？ランニングコストは？身銭(予算の確保)人件費、タダボランティアは反対／ボランティア、身銭文化であってはいけない。かといって、市民の税金をあててはならない／文化への財源の確保／文化に対する費用を呼び起こす魅力ある文化活動を始める／財源確保

【②広報(伝える)】市民ホールのPR more／文化を人ごとにしない→どんなことか？／文化芸術への関心層を広げていく／市民会館で行っている演目がわからない／教育現場とのつながり広報／子ども達を大切にイベントワークショップ

【③人】小田原市民だけでホールの運営はできるのか？専門のプロデューサーが必要だ。／小田原の一つの中心に人材活動を活性化／運営にかかわるのはボランティア？プロを使うべき／文化に関わる団体の連携を／かかれた人材の発掘《アクセス》商店街活性化 歩いていく《力・良質》八方美人は無個性である。／観る側、演じる側、展示する側、人の動きを考えた機能／アートには人を元気にする力がある《防災》屋上を避難用に／「防災対策」抜け落ちている



☆☆☆Point☆☆☆

人材育成、アートの持つ力、団体同士の連携など、ホールを中心としたまちへの広がりについて等の議論が交わされました。

5 班

☆☆☆Point☆☆☆

ソフト面・ハード面でのポイントをわかりやすく簡潔に整理しました。また、防災機能についての意見も多数でました。

【soft 面】小田原市内に約 200 団体がある、これらを

ステップ UP させる／誰が育てるの？今からスタートが必要／〈感動する〉日常→文化空間スイッチの切り替え 余韻を楽しんでから再び日常へ戻る／〈にぎわう〉若手アーティストたちが集うコーナー・子どもたちがいつも集うコーナー／情報発信 spot ・ミニ FM ・イベント告知スペース ・コミュニティエリア、カフェなどの設置／ランニングコスト、インイシャルコストを考えて建てること！！／首都圏に専用のホールが造られている、小田原に専門ホールは必要か／

【ハード】ホールの天井が落ちないように！！／お金が戻るロッカー／ホールの動線、今の市民ホールは使いにくい／小ホール 小田原近隣には本格的な小ホールが存在しない！演奏、演劇を主とした小ホールを是非実現したい！／ちよくの段差でいいかもしれないと思うのですが、段差はなしで／高齢化での人口の減少に対する対策は／楽屋とステージのスムーズな行き来／障害者トイレあればよいではなく、利用しやすい／車いすや足が悪い人などに配慮した設計を！

☆☆☆ひとことアンケートの一部をご紹介します☆☆☆

音楽や演劇をやっている方が多数いられるので、情報交換が出来れば、これからの発展になるのではないかと思います。／有意義でした。今日の発言が多く反映されることを願います。／会議が終わる時間が守られるように、設定時間が短いです。／子どもたちが未来に希望を夢を持つようなホールを！！／話を始めると 2 時間では足りないのではないか。／お金の問題、継続の問題等。解決しなければならぬことがまだまだたくさんあるなあと思いました。／最初の自己紹介が長い。今日は問題提起で今後これが具体的に話せればと思います。

☆☆☆Q&A☆☆☆

？市民ホール基本計画とは？

小田原市では新たな芸術文化創造拠点として、市民ホールの整備を進めています。その基本的な整備の方針を定めた基本構想を 23 年 3 月に策定しました。今年度からは基本構想を受け、基本計画をつくります。ここでは「運営(ソフト)と「施設(ハード)」の両面について、整備に向けて内容を深め具体化していきます。

？市民ホール基本計画市民検討委員会とは？

基本計画の策定には、市民の皆さまからの意見が欠かせません。「市民検討委員会」は様々な立場からの市民の皆さまの意見を集約する場と捉えています。その意見を、文化施設や文化活動などに関する専門家からなる「専門委員会」が、「基本計画(案)」としてとりまとめていきます。

市民の生の声を「専門委員会」に届けることが市民検討委員会の大きな役割です！

☆☆☆次回予告☆☆☆

◎先進事例視察：8月8日(月)午後13時から15時半まで
富士見市民文化会館『キラリ☆ふじみ』

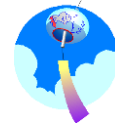
◎第2回：8月21日(日曜日)午前10時から12時まで／小田原市役所7階大会議室
「市民ホールに期待される事業・活動を考える！」
ミニレクチャー：桑谷委員、三ツ山委員、伊藤委員

◎第3回：9月19日(月曜日)午前10時から12時まで／小田原市役所7階大会議室
「あたらしい市民ホール・どんなホール機能が必要か？」
ミニレクチャー：勝又委員、市来委員

ご紹介しきれなかったご意見は裏面へ！！



ワークシートのふせん内容をご紹介します



1 班

児童館のように子供たちが自由に遊べる空間／オープンロビーで低料金で販売に利用できるスペース／マロニエ社会福祉センター児童スペースあり／小ホール、多目的、平床式、展示できるように／小ホール、平土間にこだわらずホールにもできる可動的な物がほしい(南足柄の小ホール)／国際交流スペースとして 50 人以上が入れる場所／自由に使えるスペース(多目的)展示、発表、音楽など／空間(スペース)をもっと大きく考えたい。／ランニングコスト削減／再生可能エネルギーの有効活用／清掃しやすい、つねにピカピカ／シンプルな設備でランニングコストがおさえられるもの／太陽光パネルの採用／神奈川県で一番良いホールを創ってほしい／公演によって好きにデザインできるように

【ソフト系】何をする？／ホールで“何をするのか”少し漠然としている／情報、人、コト etc が集まる。発信する。INPUT & OUTPUT / 音楽、ステージ etc. 全国公演のひとつで小田原でも公演を呼ぶ。／専門家(会館学芸員)を採用し、市民ギャラリーにする。／全国規模の公演に対応／展示スペース自主企画展覧会の開催(小田原ゆかりの作家)／コンテンポラリーダンスとかも／ソフト整備専門家の採用を必ず(予算化)

【子ども にぎわい】イベントがない時も気軽に子どもがあつまれるよう／逗子文化プラザホールのように、子供が気軽に自由に入出りできる空間に(常ににぎやかで良い)／子供むけの企画を定期的に行う。クラシック、音楽、劇など／平日のにぎわいが欲しい。土日仕事の人も楽しめる企画

【国際交流】2 市 8 町の国際交流団体をまとめるきっかけ／国際交流も文化だ

【理念】市長のビジョン(文化対策)／「プロモーション」というコトは大切。どうプロモードしていくか？いけるか？市の文化事業の戦略が最重要／子供や青少年などでこれまで芸術に関わりがなかった人などに豊かさを伝えられたらイネ！／「発信する」市からの情報をもっと必要、もっとわかりやすく？(基本構想の概要も)／文化創造センター／駅からホールまでのアクセスを整備してほしい／駅周辺の道が不便(分かりづらい、一方通行多い)／地下街も有効利用(人の流れを)／練習場機能あれば事業がないときでも人が集まる。

【駐車場】駐車場は？／市民会館では駐車場足りない。／駐車場一つにまとめると、公演前後に混雑してしまう。／駐車場の問題。基本的に不要。駅～ホールのルートに立ち寄ることができる。／Parking はないといけないのか？

【食】基本構想 17P、オープンロビーやレストランカフェってどのようなレストランカフェ？もっと具体的に示すべき。／オープンカフェ欲しい。／地産カフェレストラン、あじ、かまぼこ、レモン、みかん、うめ等。小田原の職を伝えられる機能。／10 代 20 代が興味を持ちやすいホール機能

【外観】“建築物としての市民ホール”デザインは重要。ソフトにおいてもデザイン重要。／外観がカッコイイ／デザインの力、プロモートの力／管理、修繕しやすさ。こったつくりの設備は不要。管理者の手間を減らし、ソフト等に力を入れるべき。

2 班

【ソフト】平日でも寄ってみたい場所にする。／小中学生の美術作品展／専門性のある学芸員、コーディネーターが必要／街のギャラリーとの連携が必要／市民が主体的となり参加活動していくのは良い／市民参加のいつも何かやってるホールにしたい／運営はボランティア中心とすることを重要と考えます／ホール・展示場・商店街とのタイアップ、活性化！

【基本理念】理想的だが現状の小田原市民にはハードルがやや高い／市民がつどい交流する場面について人(かかわる人材・人間関係)／一組織をよく考えてほしい／[7 つの基本方針]②「たのしむ」はもう一歩高い「感動する」にしたい／育てる ・つどい交流 に賛同する／市民ホールがホールにとどまらず、街へとあふれる意識を持つことに賛成／ネーミングを文化創造センターにすることに賛成／最終的ネーミングは別にして検討段階から内容(目的)の分かるネーミング「文化創造センター」に

【ハード】シンプルで使い勝手が良いものが多い／30 年 40 年に使用の主体となる若者の声を多く取り入れるべし／各施設とも専用性を強めず他用途を(本来の機能を保ちつつ)／目的の変化に対応出来る施設を情報発信としての機能ほしい(ハード・ソフト)／バックヤードを大事にしてホール規模は小さくてもよいと思う／照明はコンピューターで動かせるように／音楽と演劇を両方使うなら反射板とパトンが互いに殺し合わないように／託児室は平日親子のつどえる場になったらよい／展示の保管庫／現予定地にホール(大・小)展示場がどのレベルで建設可能有無の具体的な検討はどこまで進められたか？／小さい用地に大ホールは必要か／400 m²以上の高さを十分考えた展示スペースをキープする／展示スペースも重要だが「高さ」を重視／小ホールで音楽・展示は両立しうるか中途半端(現在市民会館が良い例)

【その他】観光客の立ち寄り所に！歴史・物産の紹介の場も／終演後のお客様の居場所空間を街にほしい／地下街を観光客のおみやげや情報発信の場に／市内の文化活動を市広報で PR する／展示場、常設会場にするアイデア／本物で感動するものが欲しい(代用品でなく)／相模人形芝居の普及(市民に知ってもら)／友の会システムは良い、出資できる／人材育成(屋台を組める人材)

4 班

【①金】これだけの物を作るのに予算は？ランニングコストは？／身銭(予算の確保)人件費、タダボランティアは反対 文化活動には、お金がかかります／「身銭を切る！」松本の例の様に／ボランティア、身銭文化であってはいけない。かといって、市民の税金をあててはならない／おかね／文化への財源の確保／小田原の人は文化に身銭を切らない／文化に対する費用を呼び起こす魅力ある文化活動を始める／1000 円以上は！！／財源確保

【②広報(伝える)】市民ホールの PR more / 広報 / 文化をひとごとにしなない→どんなことか？／文化芸術への関心層を広げていく／市民会館で行っている演目がわからない／他府県から人が呼べるホールであれ / open であること

教育現場とのつながり広報 / 面白ければホールに行く(自分は子どもが key か) / 子ども達を大切にイベントワークショップ

【③人】「まちへとあふれる」どういうことかわからないが、いいことだと思う。／小田原市民だけでホールの運営はできるのか？専門のプロデューサーが必要だ。／人を育てる為の人がいない_のでは、英才教育は成立しない！／ボランティアに頼りすぎないで。／小田原の一つの中心に人材活動を活性化／運営にかかわるのはボランティア？ プロを使うべき／文化に関わる団体の連携を／かかれた人材の発掘／プロとアマの融合／音楽関係者を活かす／若者に魅力ある町でありたい

【アクセス】商店街活性化 歩いていく／駐車場(車のアクセス)／駅からの仕掛け

【継続】良い物を継続していく姿勢 / 事業の継続性 / アートは人を動かす力がある / 低劣な TV 文化中心の発想はやめる / 職の魅力を町に / 「アート・イン・レジデンス」小田原周辺の良い環境を活かして 滞在してアートを産み出せるように

【力・良質】おしゃれしてホールに / 八方美人は無個性である。／ホールの大きさだけではない別のよさがある

観る側、演じる側、展示する側、人の動きを考えた機能 / アートには人を元気にする力がある

【防災】屋上を避難用に / 「防災対策」抜け落ちている

3 班

【にぎわい】オープンカフェがほしい！／大ホール、にぎわい創出の為？

【事業】学校との協力 / 発表をバックアップ / 人材がいる / ホールを黒字にするのは大変 / 「事業」ボランティア？お金を取る？ / アクティブに動ける人を！ / もうけとボランティアのバランス / 運営は直営なのか指定管理なのか。小田原は直営だった

【市民参加】年齢的に気軽に子供から老人がその場所に集えるか / 市民の創造演劇とか、音楽祭などが生まれると楽しい！ / 市民が参加して何ができるのか / 創造活動に施設を利用した市民ってどれくらいいるのだろうか？ / どんな創造活動に使いたいのだろうか？基本方針の①③、今までに子供から大人まで一緒に作りあげるものが無かった。 / “プロ”って言葉って？

【文化って何？】小田原市は本当に歴史を大切にしているの / 文化って何？ / 小田原の何かがある / “地産地消”じゃなくても良い！ / 多様性がある方が良い(小ホール) / “中継点”でないインフラ

【ハード面】防災対策はどうするのだろうか？ / 映像で公演記録“皆で何かつくりたい” / 当時は良い設備が更新されない / 閉じた貸出は必要？ / 機能は分配させたくない / 映像関連のワークショップを / 展示室と小ホールは共有できるのでは？ / スクリーンの設置 / 中ホールを川東地区に？ / リハーサルスタジオは欲しい！ / 小ホールを可動式にする理由・・・稽古場ほしい！！ / ホールに café を作るより商店街へ流動を / 練習場ない居酒屋がもうからない / 下北沢的イメージ / ホールを利用した前・後に使いたい(café) / 昼間の利用に良い(カフェ)

5 班

【soft 面】小田原市内に約 200 団体がある、これらをステップ UP させる / 育てる-小田原で大きなイベントを組むことより、機会が増えていく参加者が増える / 誰が育てるの？今からスタートが必要 /

(感動する)日常→文化空間スイッチの切り替え 余韻を楽しんでから再び日常へ戻る / (感動する)・Hall へいくまでのアクセス ・帰りみちの充実感 / (にぎわう)・若手アーティストたちが集うコーナー ・子どもたちがいつも集うコーナー / 小田原の人は自分の分野だけの意識が強すぎる。全体的に参加できるようにするには！ / 育てる-子ども教育子ども会との両輪化、甲府市が行っている / 市民にかかわる演目だけでなく、チケットをもぎるとか、市民が参加する方法を、仕組みを / 小田原市の PR ・入り口ロビーに北条五代の展示コーナー設置 ・売店も充実 / 情報発信 spot ・ミニFM ・イベント告知スペース ・コミュニティエリア、カフェなどの設置 / ホールは観るだけではない。 ・カフェ ・ロビー ・インフォメーション / カフェ、レストラン、売店の充実 / ランニングコスト、インシャルコストを考えて建てること！！ / 外壁はアーティストの作品展示場にしたら、ガラス張り / 首都圏に専用ホールが造られている、小田原に専門ホールは必要か / 小田原城跡をみられる茶屋、おしゃれな！

【ハード】「吹奏楽コンサート」が出来ない。音楽の活動場所がない。合唱団など / ホールの天井が落ちないように！！ / お金が戻るロッカー / トイレ汚いのは嫌 / ホールの動線、今の市民ホールは使いにくい / 小ホール 小田原近隣には本格的な小ホールが存在しない！演奏、演劇を主とした小ホールを是非実現したい！ / 吹奏楽コンクールの県西予選会が小田原市民会館でできるように！ / ちよくの段差でいいかもしれないと思うのですが、段差はなしで / 高齢化にての人口の減少に対する対策は / 楽屋とステージのスムーズな行き来 / 障害者トイレあればよいではなく、利用しやすい / 車いすや足が悪い人などに配慮した設計を！ / 舞台監督の人(プロ)の意見をききたい、音楽演劇両立のため / 津波対策

2 時間を超える初回の市民検討委員会では様々な立場の皆さんから、こんなに多くの意見が出されました。今回の検討委員会をふまえ、次回以降はより具体的なところへと話がすすんでいきます。皆さんで検討委員会を盛り上げていきましょう！

